

TOEIC テスト 究極のゼミ合宿 其の十二

Inferno

2015 年 7 月 18 日～19 日

神奈川県三浦郡葉山町

濱崎潤之輔 & ヒロ前田

前回、「其の十一」(神戸)に参加した方のご感想

原吉徳さん(会社員) 授業で教えていただいたことを、その後の問題演習を通じてすぐに実践し身につける、ということが合宿では可能です。もちろん教えていただいたことは、TOEICを受験するに際して本当に役に立つことばかりでした。個人的に特に良かったと思うのが Part 3 の解き方です。おかげで Part 3 は覚醒した感があり、それに引きずられるように Part 4 もできるようになりました。

マドロスさん(会社員) 前回のリスニング集中形式ですが、先生の意図・目的が大変明確であったこと、講義での音読方法のやり方のご指導から、まだまだ自分の音読は甘いなあと痛感したことなど、色々な気づきがありました。さらに、合宿に参加されている皆さんがもの凄く真剣で意識が高いので、これも大変刺激になりました。

村上さん(会社員) 何故だかよく解りませんが、合宿参加後、勉強を毎日しないといられなくなっていました。意識的に自分を変えようとは思っていませんでしたが、結果的に変わってしまいました。現時点ではスコアが上がっていない人も居ると思いますが、「楽しかった・面白かった」と全員が感じていると思います。これは凄いことだと思います。

Kyoko さん(会社員)

【合宿前の不安→実際の合宿】

- ・講師がスパルタで怖かったらどうしよう。。。→ むしろ優しかった。終始楽しかった。
- ・授業についていけるかなあ。。。→ 内容がわからないということも、簡単すぎてつまらないということもなかった。途中で質問を何度も受け付けてくれたし、後から休憩時間に質問することもできるいい環境だった。
- ・他の参加者の雰囲気は?? → TOEIC900 点を目指しているくらいのレベルが多かったのかなと思った。900 以上の方もいらっしゃいました。泊まり込みということもあるからか、TOEIC に関して意識の高い人が多かった。年齢層はバラバラでしたが、感じの良い方ばかりだった。

【合宿の良かった所】

- ・リスニングは勉強方法がわからなかったけど、やるべきことがわかった。
- ・一生懸命に勉強している他の参加者の存在が励みになった。
- ・TOEIC の勉強は楽しいなあと初めて思った。
- ・二泊三日全く飽きずに集中できた自分にびっくりした。

【合宿で不満だった所】

- ・特にありませんでした。

参加資格＝次の 3 つ全部を満たすことです。

①Lis セクションの最新保有スコアが 300 点以上であること

取得時期は問いません。公開テストであれ IP テストであれ、あなたが申し込む時点で保有する最新スコアが基準です。リーディングセクションのスコアがどうであれ、リスニングのスコアが 300 点以上であることが必須条件です。（言うまでもなく、スコアを大きく伸ばせるのは 300 点～400 点の人です）

②英語の聴解力を伸ばす訓練に真剣に取り組むこと

今回の合宿では、演習量を少なめにしてでも、リスニング力を高めるための訓練を中心に据えます。ですから、「ひたすら解く」ことを期待する方は、ご自宅やいつもの喫茶店で問題を解きまくってください。

③PC でインターネットを使えること&機器 2 つ

合宿開催前に、音声（MP3 形式）が入った zip ファイルを、あるサイトからダウンロードして、合宿会場に持ってきていただきます。スマホではダウンロードできません。ですから、パソコンでインターネットを使えることが必須条件です。preferred ではありません。required です。そして、その音声を再生する機器（とイヤホン）が 1 つ必要です。パソコンでもスマホでも IC レコーダーでも WALKMAN でも iPod でも大丈夫。さらに、録音機器が 1 つ必要。これらの機器は同時に使うので、計 2 つ必要です（再生と録音を兼ねる機器が 1 つあっても足りません）。例えば、「スマホで音声を再生しつつ、IC レコーダーを録音に使う」のように、録音と再生を同時に（そして別々に）できる機器をご持参いただきます。



過去の合宿でも、このように再生&録音機器を持ってきていただいたことはありましたが、今回は、告知時点で明示することにしました。では、次のページへどうぞ。

どうも。前田です。12回目を迎える「究極のゼミ合宿」は初めて神奈川県の葉山町で開催されます。ウィキペディアによれば、葉山町（はやままち）は、「別荘地としても知られ、海岸沿いには有名人、著名人の自宅や別荘などがある」関東では有名な場所です。

かなりロケーションが良い、料金が高めの施設（全員シングルルーム）を使いますが、参加費は通常通りです。



「其の十二」のテーマ

神戸で開催した「其の十一」のテーマはこれでした。

聴けてんのか？

そう、「リスニング」です。「其の十二」も同じテーマです。（テキストも同じですが、使用箇所は変わります）

リスニング力をろくに鍛えずに、スコアだけを伸ばし過ぎていませんか。

どうでしょう。

これまでに、あなたのリスニングセクションのスコアは上がってきましたか？

その理由は、英語を聴いて理解する力を伸ばしたからですか？

あなたは、その力を本当に伸ばしてきましたか？

それとも、4つの選択肢から正解を選ぶ力だけを伸ばしてきたのですか？

両方とも伸ばしてきたのですか？

あなたのリスニング力は、 本当に伸びてきたのですか？

スコアの伸びと同程度にリスニング力が伸びていると確信しているならば、素晴らしいことだと思います。英語を聴いて理解する力がのび太、ではなく、伸びたから、スコアが上がった。ETS が期待していることは、まさにそれでしょうし、あなた自身もそう願っていることでしょう。

実際、どうでしょうか。

ボクも濱崎さんも TOEIC 対策セミナーや企業研修での TOEIC レッスンを担当する機会があるので、知っているつもりです。リスニングセクションのスコアがポンっと上がった人のリスニング力が、実はほとんど伸びていないことを。ポンッと 50 点ほど上げた人のリスニング力が微塵も変わっていないことはザラです。理由はこれです。

TOEIC のリスニングセクションは、正確なリスニング力を測定しようとしていないから。

(注意：これはボクが勝手に書いていることです。決して ETS に問い合わせないでください)

考えてみてください。パート 5 からパート 7 までの 100 問は、リスニングセクションに比べると、より正確な知識や文章理解を求めています。文法問題を例にしましょう。空所に入るのは、(A) has increased か、(B) increased か。「空所の直後に in August がある。よって、現在完了形は使えない。文脈から、8 月は未来ではなく過去だ。よって、ここでは単純な過去形 increased が正解だ」と正確に理屈をこねることで正解を導くことができます。どんな対策本も、基礎となる文法や語法の知識を持たない人がスコアを上げる方法は教えていないはずです。「動詞を修飾するのは副詞」とか、「5 秒で解く」とか、そういったことは教えていますが、それらも結局は正確な知識を前提とする解法です。

一方、リスニングセクションはどうですか。正確なリスニング力や正確な語彙の知識を求める問題もありますが、そうでない問題もたくさんあります。例えば……

When じょわん じょわん じょわん？ ←「やべえ、わかんねえ (汗)」

(A) To London.

(B) Not at all.

(C) In August. ←「これや！」

「会話を書き取れ」という出題形式なら正確なリスニング力が必要でしょうが、実際は違いますね。リスニングセクションの設問の多くが求めているのは、正確な聴解力ではありません。どちらかと言えば、正確なドンブリ勘定がスコアをポンっと上げます。(スコアを爆発さ

せるには、ドンブリ勘定だと足りません)

リスニング力を伸ばすことと、スコアを伸ばすことは同じではありません。もし、あなたが「スコアは伸びてきたけど、リスニング力は鍛えていなかった」のであれば、そろそろ「聴いて正しく理解し、解答する力」を伸ばしませんか、と言いたいのです。

今回の合宿は、そのきっかけになります。今、リスニングセクションで 300 点や 400 点を取るレベルにいるならば、半年後とか 1 年後に 400 点台の後半を射程圏内に捉えることはできます。また、単に英語のリスニング力を伸ばすだけでなく、伸びた力をスコアに反映させるための解答力を向上させる演習と講義も長時間あります。ただ、特別に新しい学習法を紹介するわけではありません。なぜならば……

「知っている」と「やっている」は違うから。

合宿中は、問題集を使った演習と講義がメインですが、濱崎さんが 2007 年 10 月 1 日から 2008 年 3 月 19 日まで取り組んだ、リスニング力とスコアを伸ばしたトレーニングも体験していただきます。(当時の濱崎さんのスコアは後で紹介します)

TOEIC 対策法を学ぼうとするのは悪くないですが、「方法を学び続ける」のは、成果を出さないベストウェイです。なので、あなたは学んだこと、すでに知っていることを実践する人になってください。お願いします。

ボクたちが、あなたにやって欲しいと願うのは、「即効性がないように見えること」です。と言うのは、大きい成果を手に入れるには、即効性しかない学習は不要だからです。即効とは「即、効かなくなる」ことをも意味します。今すぐ頭痛を治すには即効性のある薬が必要でしょうが、緊急性がなければ頭痛薬は不要です。そんな薬より、体を鍛えて健康体を作る方がよっぽど長期的な価値が大きいですよ。今回の合宿では、食欲になって、健康体を作るメニューと、即効性のある薬の両方を処方します。

大きな変化。持続する成果。

2007 年 10 月 21 日に会って以来、7 年以上も濱崎さんを見てきたので、ボクは彼がリスニング力アップのために採用したトレーニングの詳細を知っています。先ほど言ったように、濱崎さんは 5 カ月ほど静かに鍛えました。その、短期間で養った力がスコアを上げました。2007 年 9 月の L420 点 & R425 点から、2008 年 3 月の L495 点 & R475 点へ。

今、これを書きながら思い出しました。ボクの知り合いの教え子(茨城県の H さん/会社員)が実践した鍛錬も基本的に同じ路線で、彼のスコアは L175 点から L495 点へとジャンプしました。8 カ月という短期間で。リーディングも 155 点から 375 点へ飛躍。大きい変化ですね。

「短期間」と 2 回書きましたが、5 カ月や 8 カ月を短期と考えますか。長期だと感じるかも知れませんが。大切なのは「成果とのバランス」です。420 点が 495 点に飛躍し、その後、

何年も安定すれば5カ月の学習なんて「ド短期」です。それに、一般社会人が毎年思うように、1年とか2年なんてすぐ過ぎますから、数カ月スパンで学習期間をとらせてください。

教官は濱崎さんだけではなくありません。ボクも教官です。神戸でもやった、かなりヘンテコなセッションを体験していただきます。

本当に聴けてんのか？

これにこだわる合宿にします。ボクたちが想像する参加者は、こんな人々です。

1. TOEIC の受験や英語学習が好きな人
2. 「即効の 50 点アップ」より「1 年後の 300 点アップ」に価値を感じる人
3. あの ETS が作った問題を解いて、試験本番でニヤリとしたい人
4. 学習意欲の高い人たちと一緒に、次のステージを目指して歩み始めたい人
5. 継続的に学習できるようになるためのきっかけが欲しい人
6. 精神を鍛えたい人
7. 行動至上主義の人間に生まれ変わりたい人
8. 己を律する力を高めたい人
9. facebook で偉人の言葉に「いいね！」をクリックするが、まったく行動しない人
10. TOEIC が好き過ぎて家庭や職場で孤立しかかっている人
11. そんな人を肯定的にとらえられる人
12. このリストが前回と同じであることに気づいている人

やる気に満ち溢れた人たちと一緒に、英語漬け&TOEIC 漬け&ETS 漬けになりませんか。脳ミソが溶けるかも知れませんが、知ったことではありません。あなたの可能性を制限しているリミッターを外してみませんか。

大ざっぱなタイムテーブルを作りました。こんな感じです。

Day-1 2015 年 7 月 18 日（土） 13:00～23:00（ほぼ勉強だけ）

Day-2 2015 年 7 月 19 日（日） 7:30～18:00（ほぼ勉強だけ）

（これらに演習、講義、質疑応答などの「勉強時間」が含まれます）

約 15 時間の勉強時間があります。合宿に参加しなくても、土日で 15 時間ほど勉強する人はいます。あなたがそういう人であれば、わざわざ参加する必要はないかも知れません。でも、「15 時間も勉強する自分」に出会ったことがなく、実は自分がそうだったと気づきたいならば、ぜひ、ご参加ください。我々がその環境を整えています。

ちなみに、初日はオフィシャルなセッションは 23 時で終わると思いますが、たぶん「個別の勉強」がその後も続くと思います。シングルルームを取ったのは、独りで勉強する時間を確保していただくためです。詳細は書きませんが、この合宿ならではの良さ（怪しさ）だと思ってください。とにかく、あなたが経験したことがないような時間と空間を提供します。

教材は、モロ本物と同じクオリティです。



使用する教材は『ETS TOEIC Test LC 公式実戦書 1000』です。あの ETS が作成し、韓国で販売している本です。これを合宿用に輸入してあります。

めちゃ良質なリスニングセクションの練習問題が 1000 問も収録されています。模試形式で 10 回分。「其の十二」では、TEST 04 と 05 を使うことになります。

参加者全員が合宿現場で初めて本書を手にするのを想定するので予習は不要ですが、どうしても事前に取り組んでから参加したい場合は、お任せします。（購入は自己手配してください）

当たり前のことですが、この本には**本番に出題されそうな素材がギュウっと詰まっています**。この本に収録されたテストが、そのまんま公開テストや IP テストに登場しても何の違和感も持ちません。（大きい声では言えませんが、「其の十一」で扱った、あるトピックと同じ内容の問題が、2015 年 5 月の公開テストに出題されていました。図書館が舞台の問題です。それくらい、この教材はモノホンなのです）

解説と訳は韓国語で書かれてありますから、あなたが韓国語を理解できないなら、解説も訳も完全無視することになります。つまり、合宿中も合宿後も英語だけに触れる時間が増えます。その良さは「[教官インタビュー](#)」で濱崎さんが答えている通りです。

教材費は 2,200 円に設定しましたが、**もっと高く買いたい**場合は「自己手配」してください。ほかのルートで購入可能です。

なお、冒頭で「パソコンが必要」と書いたのは、この教材の音声ファイルを入手するためです。韓国の本には CD が付いていないことが多いので仕方ありません。パソコンを使って音声ダウンロードすることが必要です。

参加費

教材費込みで 40,000 円（税込） です。教材を自己手配する場合は、37,800 円（税込） となります。学生割引もあります。（社会人学生を除く）



最高のロケーションです。研修室に引きこもって勉強しましょう。



お会いできることを楽しみにしています。

TOEICテスト

Inferno

究極のゼミ合宿

其の十二

2015年7月18日 & 19日

葉山開催

日時：2015年7月18日（土）13時～19日（日）18時 ＊集合はJR 逗子駅 11:15 前後

会場：神奈川県三浦郡葉山町（詳細は申込者にお伝えします）

定員：28名（多少前後する可能性あり／全員シングルルームです）

教官：濱崎潤之輔、ヒロ前田

費用：参加費 37,800 円＋教材費 2,200 円＝40,000 円（税込／1泊3食付き）

＊教材を「自己手配」する場合は 37,800 円（税込）です。

＊大学生は参加費 5,000 円引きとなります。会場で学生証をご提示ください。

＊7月19日には京浜急行バスでJR 逗子駅に戻ります。（逗子駅に19時に到着する予定です）

ご注意ください。

部屋と食事の確保、キャンセル規定などの都合で、**第一次申込締切日は2015年6月21日（日）の24時**です。その前に空席がなくなれば締め切られますが、空席があれば二次募集を行います。（ただし、ほぼ毎回「キャンセル待ち」が発生しているので、その可能性は低いです）

ご入金の方法はメールでお知らせします。ご入金後のキャンセルには最大1万円の取消料が発生しますので、確実に参加できることを確認してからお申し込みください。

「申し込みだけして、後でキャンセル」というケースがありますが、それが原因で、日程的には参加できるのに席がないから参加できない人が発生します。やむを得ない事情がある場合は仕方ありませんが、参加可能であることを確認してからお申し込みください。

では、次のページで申込方法と特典を説明します。

申込方法

「TOEIC テスト究極のゼミ合宿 其の十二」への参加を希望される方は、下のフォームからお申し込みください。(完了後、自動でメールが送られ、ご入金方法が伝えられます)

申し込みフォーム

→ リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/dist/S57727985/>
(スマートフォンからも申込可能ですが **PC** で読めるメールアドレスをご登録ください)

受講特典

ちゃんと利用すれば、これらは強力なメリットになります。1つ目の「質疑応答」は、正直に言って対応が面倒だなと感じることがなくはないですが、実際やってみると我々にとっても勉強になることが多いため、歓迎いたします。有効期限がありますので、ご注意ください。

質疑応答

合宿で使用する本に収録されているアイテム(練習問題)について、理解できないことがあれば、質問してくだされば回答します。通常、特別な事情がなければ、**3日以内**に返事を差し上げています。

質問には個別にメールで対応します。ボクたちは、通常、このような役務サービスを提供していませんが、解説が韓国語で書かれた本を指定する以上は、質問を受け付けるのは自分たちの責任範囲だと思い、個別対応いたします。ただし、無期限で受け付けるわけにはいかないので、**2015年10月31日まで有効**とします。(ボクたちは翻訳者ではありませんから、単に「訳」を提供することはできません)

「究極のゼミ合宿」メンバー専用SNSグループの利用権

facebookに、合宿参加者専用の交流スペースがあり、約100名が利用しています。学習記録を書く人、スコア報告をする人、雑談を書く人、いろいろです。あくまでも「特典」ですから、利用は必須ではありません。facebookを使っていない場合は、無理にアカウントを登録していただく必要はありません。



最後に、濱崎さんからの「追伸」があります。

追伸

僕はこれまでも、そしてこれからもずっと、TOEIC が存在する限り、TOEIC のスコアを必要とする人がいる限り、命を懸けてずっと付き合っていく覚悟ができています。

指導を始めてから出会ってきた仲間たち。

その多くは TOEIC テストのスコアを会社の昇進・昇格の基準や大学の進級・卒業要件として求められることにより、人生の岐路に立たされることとなった方々。そういう人たちと共に過ごした日々、そして状況を打破するために試行錯誤する中で手に入れた知恵や方法論。

この合宿では、その知恵と方法論・劇的なスコアアップのコアとなる部分を、一切の出し惜しみなくお伝えしたいと考えています。公開テストを毎回必ず受験し、いかに効率的で効果的な学習を行えば良いのか、結果がきちんと出るのか.....そのことだけを日々考え・実践し、僕はこの数年間生きてきました。その結晶のすべてをお伝えしたいと思います。

TOEIC テストは決して甘い試験ではありません。

一朝一夕で何とかなるような類のテストではないことは事実です。

それでも短期間に集中し、ポイントをキッチリと押さえた学習を続ければ、思った以上に早く「望んでいた結果」を手に入れることが可能です。「まだ早すぎる」「もう遅すぎる」ということは決してありません。大切なこと、それは今日から新しい自分に生まれ変わり、人生を懸けて、命を懸けてやれるのかどうか、ただそれだけです。

TOEIC テストは「努力する人を決して裏切らない」最高のテストです。

結果が嘘を 200%つかない最高のテストです。

短期間で結果を出したいのであれば、真摯な努力を凝縮すればいい。

そのとき最後に頼れるのは自分自身だけです。

僕や前田先生が、あなたの代わりに TOEIC を受験することはできません。

なぜなら、僕たちも命ある限り TOEIC を受験し続けるからです。

僕たちには覚悟があります。

TOEIC に人生を捧げているという自負があります。

そういう僕たちから、得られることを得られるだけ持って行ってください。

合宿参加者は人生の同志です、そして TOEIC とあなたが向き合い続ける限り、たった一人で TOEIC に自信を持って立ち向かっていくことができるよう応援し続けます。

職種業種問わず、老若男女問わず、TOEIC の名のもとに集い、切磋琢磨しましょう。

濱崎潤之輔

関連リンク

過去の参加者の声 http://hiromaeda.info/zg/?page_id=157

1つの教材を徹底的に使って理解を深めるという復習の仕方を学ぶことで、英語に対する姿勢が変わった気がする。また、Facebookのグループで他の参加者がひたむきに頑張っている姿を見ることで、TOEICを卒業後も発奮できていることに感謝している。

(MMさん／自由業)

このサイト「究極のゼミ合宿」には、ほかにも「教官プロフィール」「教官インタビュー」などの情報が掲載されています。

「其の十一」参加者の声

梶本佳史さん（会社員）

<其の十一に参加して感じたこと>

まずは参加されたメンバーの意識（英語、TOEIC、勉強に関する意識）が高く、非常に良い刺激を受けました。技術だけではなく、本質的に英語を理解する（聞き取りができ意味が把握できる）ために何をすべきか、継続的に勉強するには何を行わなければならないかを自分に問うセミナーでした。

こんなに集中的に勉強をするのも久しぶりでかなり疲れますが、結果も個人的には満足するものとなりました。セミナー前のヒアリングテストは70%の得点でしたが、最終日のテストでは78%となりました。この得点は他の方から比べるとかなり低い点数ですが、私としては正しいやり方で勉強するとやはり数字は残せるものと改めて痛感しました。その意味でもこのセミナーは有効で私には大変意義のあるセミナーでした。リーディングセミナーがあればまた参加したいと思っています。前田先生、濱崎先生、チームメンバーの方々に改めて感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

問い合わせフォーム <https://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P7053673>

（合宿に関することで申し込む前に確認したいことがあればコチラからどうぞ）